

## 2019 年 G20 新潟農業大臣宣言 概要

世界の農地の約 60%、農産物貿易の約 80%を占める G20 農業大臣として、増加する世界人口を養うために、資源の持続可能性を確保しつつ、生産性を上げていくことを目指す。

### 1. 農業・食品分野の持続可能性に向けたイノベーションの必要性

- ・ 非農業分野で使われているものを含め、技術が現場で円滑かつタイムリーに活用されることが重要。
- ・ 研究開発への農家の積極的な参加推進、農家が ICT 等を活用する際に必要なスキル習得環境を整備。
- ・ 女性、若者を含む全ての者が農業データにアクセスできる基盤の整備等に向けて各国が努力。

### 2. 農業・食品分野の包摂的かつ持続可能な成長に向けた農業・食品バリューチェーンへの着目の必要性

- ・ G20 が FVCs 全体に渡る食料の損失・廃棄の削減に主導的役割を担うべく努力。
- ・ FVCs を通じた農村開発に向けても各国が努力。
- ・ FVCs の効果的な運用においては、開かれた、予見可能かつ透明性のある貿易が不可欠。農業貿易ルールの改善に向けた国際的な努力の継続を歓迎するとともに、国際ルールの遵守を各国に呼びかけ。
- ・ FVCs の発展のため、災害や異常気象へのリスク管理措置強化が重要。

### 3. 世界的課題に対応するための協力及び知識の交換の必要性

- ・ 国連の持続可能な開発目標（SDGs）のうち、特に飢餓の終結や食料安全保障、栄養改善の達成、持続可能な農業の推進に取り組む。気候変動の緩和と適応について、農業の役割を最大化するよう努力する。
- ・ 越境性動物疾病に関する情報共有の強化や国際機関の取組への支援が重要。また、国連総会における 2020 国際植物防疫年の決議の採択を歓迎し、植物の健康に対する意識向上を目指す。
- ・ フードチェーン全体に渡るアプローチを通じて薬剤耐性（AMR）に対処することが重要。

### 4. 世界的なアウトリーチ活動とストックテイクの必要性

- ・ 農業・食品分野の課題への対応にあたり、各国の優良事例を交換し、成果や知識を蓄積していくことが重要。
- ・ 過去に立ち上げられたイニシアティブの継続的な活動のため、積極的な支援を継続。